事業番号	11 05 12	事業改善シート(25年度実施事業分)	口予算要	要求	口当初予算案	日補正予	算案	■点検
事業名	-	流域貯留浸透事業費		担	部局	建設部		
尹 未 石	// / / / / / / / / / / / / / / / / / /				課·室	河川課		
W A = 4, F	プロジェクト			当課	E−mail	kasen@pr	ef naga	no.lg.jp
総合5か年 計画	施策の総合的	4-1 地域防災力の向上						
пп	旭州の総合印	4 災害に強い地域づくり		Di N	実施期間	H21	\sim	H30

1 事業の概要

目指す姿	近年、局地的豪雨の頻発により透施設を設置し、河川に対する	〕浸水被害 5洪水負±	害が多発している地域において、公共施設等に 但を軽減するとともに、流域全体の面的な安全	こ降雨を一時 度の向上を	時貯留し流出る :目指す。	≥抑制するため)の貯留浸
現状	いるため、河道拡幅等の抜本的	内な改修に	では、未改修区間の上中流域において近年 は多大な時間と費用がかかり困難なため、貯修 完成している。(岡谷市神明小学校 校庭貯修	習浸透施設の			
県が関与 する理由	県でなければ実施不可(内部 県民との協働による実施: 困	『管理)	【左記の説明、根拠法令等】 県が行う河川改修を補完する事業として交付	金を活用し	ながら実施する	必要がある。	
	① 成果目標 (H25) 貯留浸透施設の設計を1箇) ② 事業内容	 所完了す 	ేవ.			(È	単位: 千円)
	項目	実施方	法 H25事業実績		H: (当初)		H26 (当初)
	流域貯留浸透事業	直接	受 岡谷北部中学校の貯留浸透施設設計(H2	24繰越)	9,600	9,197	0
事業内容							
				合計	9,600	9,197	0

	X	<u> </u>	分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	_		前年度繰越	5,200	7,931	9,197	0
	予質		当初予算	25,330	9,600	9,600	0
事	算額		補正予算	3,057	4,916	-9,600	0
業	í		合計(A)	33,587	22,447	9,197	0
^			国庫支出金	10,534	7,144	2,953	0
⊐	Aσ		県 債	19,000	11,000	4,000	0
_	財源	1	その他()	0	0	0	0
ス			一般財源	4,053	4,303	2,244	0
۲	決	Ĵ	算 額(B)	25,657	13,250	9,197	
	概	算	職員数(人)	0.24	0.12	0.09	0.00
	人件	費	概算人件費(C)	-	_	_	-
	概算	事	業費(B(A)+C)	25,657	13,250	9,197	0

	成果目	標の達成	状況		
項目	H24末		H26		
供日	(実績)	目標	成果	達成状況	目標
貯留浸透施設設計	2/5箇所	3/5箇所	3/5箇所	達成	
貯留浸透施設	1/1箇所	1/1箇所	1/1箇所	達成	

目標に対 する成果 の状況 H24に予定していた貯留浸透施設設計(岡谷北部中学校)は、施設管理者(岡谷市)との調整に不測の時間を要したが、H25に繰越、5月末に完了した。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか
ラ 伎、事 耒
をどのよう
にしていき
t-11th

□ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施

平成25年8月に発生した豪雨被害を踏まえ、河川改修(河道拡幅、調節池整備:県)・下水道整備(雨水渠:岡谷市)・流域対策(流域貯留浸透事業:県 他)のハード対策と、ソフト対策を位置付けた塚間川の総合治水対策計画(100mm/h安心プラン)を検討中(H26登録予定)。 貯留浸透施設についても、この検討の中で現計画を見直し、H27以降設計・施設整備を進めたい。